

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【医療情報学科】

健康福祉学部医療情報学科では、健康・医療に関する専門的知識と先端情報技術を兼ね備えた健康・医療分野の情報化を担う人材の養成を目的としている。そのため、教養科目群を学ぶことにより幅広い教養を培い、豊かな人間性を涵養するとともに、先端的な情報技術と健康・医療を学ぶうえで基礎となる専門導入科目・基幹科目群の徹底した修得を行う。その後、情報コースと医療コースに分かれ、情報コースでは専門展開科目群において先端情報技術に関する高度な専門的知識とスキルを身につける。また、医療コースでは専門展開科目群において診療情報の管理・活用に必要な医療に関する専門的知識を修得するとともに、実務実習を通して現場で役立つ実践力を身につける。さらに、両コースのいずれにおいても、生体情報実験や卒業研究を通じて問題発見解決力、プレゼンテーション力などを身につけ社会で活躍できる力を養う。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【社会福祉学科】

健康福祉学部社会福祉学科では、高度化・多様化する福祉・介護ニーズに対応した専門的知識と技術に基づき、他職種と連携して福祉・介護サービスを必要とする人々の自立と自己実現を支援できる、豊かな人間性を備えた社会福祉専門職の養成を目的としている。そのため、まず多様な教養科目の履修により、広く人や社会に対する理解を深め、豊かな人間性を支える幅広い教養を身につける。次に、専門科目は、導入・展開・関連科目に区別し、基礎となる社会福祉学を中心に、福祉関連諸分野まで幅広く学ぶことにより、福祉課題に多面的に取り組み、解決に導くことのできる力を身につける。また、社会福祉学が実践の学であることを踏まえ、全学年に配置した少人数制ゼミ及び現場実習を通して、社会福祉学の知識と技術を体験的に学び、福祉現場で必要とされる問題解決能力、コミュニケーション能力を修得する。これら全てのカリキュラムを通して、対人援助の専門職に必須の福祉マインドを育み、さらには、福祉社会の発展に貢献できる意欲と能力を養う。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【健康栄養学科】

健康福祉学部健康栄養学科では、人々の健康維持・増進及び傷病者に対する適切な栄養指導を行い、社会に貢献できる管理栄養士、及び、広く深く学術を修得し、行政、教育、科学技術の場で活躍できる人材の養成を目的としている。そのため、教養科目群を学ぶことにより幅広い教養知識と人間力を養うとともに、専門基幹科目においては3分野（社会環境と健康、人体の構造と機能・疾病の成り立ち、食べ物と健康）について体系的な学習と後続した実習を通して管理栄養士として必要な専門的基礎知識を修得する。それらの上に専門科目では、臨床栄養学・栄養教育論分野の専門知識を系統的に修得し、管理栄養士として適切な栄養アセスメント・指導などのマネジメントが科学的視点から実行できる力を身につける。また、総合演習、臨地実習を通して医療・福祉・教育・保健・行政等の幅広い分野で管理栄養士として活躍できる実践力と、卒業研究により健康栄養科学分野における専門的な方法論、論理的思考力、課題探究力を身につけ、将来、専門職の一員として活躍できる力を養う。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【薬学科】

薬学部薬学科では、薬の専門家にふさわしい知識と倫理観を兼ね備え、創薬や医療の現場で活躍できる医療人としての薬剤師の育成を目的としている。そのため、まず多様な教養系科目の履修による幅広い一般知識とヒューマニズムの養成とともに、基礎薬学科目の徹底した修得を行う。これらの上に、応用薬学、医療薬学、実務系科目の系統的な積み重ねと後続した実習による振り返りを通して、科目相互の関連性を意識しながら専門的な知識を得る。さらに、他の医療職者との連携を伴う長期間にわたる現場での実務実習や専門的な研究活動を通して、科学的思考に基づいた問題発見・解決能力を修得し、将来医療チームの一員として活躍できる力を身につける。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【看護学科】

保健医療学部看護学科では、高い教養と豊かな人間性に裏打ちされた倫理的判断力・実践力・国際的視野を兼備したプロフェッショナルな看護職を育成することを目的としている。教養系科目の履修により幅広い視野と教養を身につけるとともに、看護の基礎として看護基盤科目を修得する。これらの上に、各看護専門科目の概論、方法論、実習を系統的に修得し、看護の専門性の理解を深め実践力を身につける。さらに、継続看護やチーム医療について学ぶ統合実習や、研究ゼミナールを通して、将来チーム医療の一員として活躍できる力を身につける。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【理学療法学科】

保健医療学部理学療法学科では、科学的根拠や論理的思考に基づく高い実践力と、豊かな人間性を兼ね備えた「選ばれる質の高い理学療法士」の養成を目的としている。人間形成に必要な様々な教養を身につけるための人間科目群を学ぶことで対象に向き合うことができる人間性を養い、専門科目を学ぶために必要な基礎を身につけるための専門基礎科目群、各疾患により生じる障害に対応する理学療法を身につけるための専門科目およびその実習へとつなげて学んでいく。各年次に設けられたセミナーにおいて、臨床実習に向けた準備を十分に行い、各年次に配された臨床実習を通して、学んだ知識と技術を実際に対象者に適応していく力を身につけていく。また、卒業研究を通して、論理的思考やプレゼンテーション能力を身につけ、社会やチームの一員として活躍できる力を身につける。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【子ども教育学科】

人間発達学部子ども教育学科は、人間尊重・人間理解を基調とし、人類の健康と福祉に貢献できる有為な保育者・教育者の養成をめざし、これを実現するために、教育課程では、保育・教育に携わるための高度な専門能力を養うとともに、教養教育や専門教育を通じ、教養や感性、人間理解力や国際性を培い、さらに専門職業人としての倫理観、人間性、コミュニケーション能力や自己教育力等を身につける。

本学科は、主として就学前の乳幼児の保育・教育に関わる幅広い視野と専門性を備え、併せて、「幼保一体化」「保幼小連携」「子育て支援」や特別な支援が必要な幼児等に対応できる能力を身につける「保育・教育コース」と、小学校・中学校教育への幅広い視野と英語力を備えるとともに、特別な支援を必要とする児童・生徒の教育に携わる能力を身につける「教員養成コース」を設置している。両コースの学生とも、自己の興味・関心に基づき、保育学・心理学・福祉学・教育学・障害児教育学・英語学等の開講科目を通じて、多様な子どもの発達を支える専門職業人として活躍できる能力を養う。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【生物生産学科】

農学部生物生産学科では、全学生が農学の基礎である生物化学、作物学、園芸学、食品学、微生物学、アグリビジネス論などを修得する。また、現代農業の課題でもある六次産業化論とバイオセラピーを学ぶ生物介在活動論を修得する。さらに農学に対する広い視野と柔軟な思考力を学修し、各コース専門科目を修得する。農学部4年間の学修を通して、我が国農業が抱える課題を多角的な視点から抽出し、課題解決のために生物工学や情報工学分野をはじめとする先駆的な知識を活用できる力を養う。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報（健康福祉学研究科）

修士課程／博士前期課程

【医療福祉情報学専攻】

- 健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する基本的知識・技能
- 高度な情報処理技術の修得とそれを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力
- 健康・医療・保健福祉の情報化にかかわる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力
- 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観

【保健福祉学専攻】

- 保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識
- 精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識
- 対人援助技術の修得とそれを活用して保健福祉的援助を実践する能力
- 保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力
- 保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観

【食品栄養学専攻】

- 食品栄養学全般にわたる該博な知識
- 食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力
- 食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術
- 栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力
- 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力
- 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観

博士後期課程

【保健福祉学専攻】

- 健康・医療・福祉に関する先端的研究や情報技術開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能
- 独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力
- 研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力
- 研究成果を地域社会の保健福祉の改善に生かすための実践的応用能力

【食品栄養学専攻】

- 健康増進と生活習慣病の予防に貢献する研究や新規食品の開発研究を自立して行うための豊かな見識と専門的知識・技能
- 独自の研究計画を立案して、それを実行することにより、研究成果を得る能力
- 研究の成果を適切に取りまとめ、専門学会で口頭発表するとともに、原著論文を作成して専門学術誌に発表する能力
- 研究成果を地域社会の健康増進と生活習慣病予防に生かすための実践的応用能力

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報（薬学研究科）

博士課程

【薬学研究科】

臨床現場の薬剤師と科学者としての両方の着眼点を持ち、臨床におけるニーズ・問題に対して科学的思考による問題解決を応用実践して行く能力、ならびに後継薬剤師育成およびチーム医療の推進において指導的な役割を担うための適切な教育能力や全体像を総括的に把握できる能力を修得する。そのため、関連する薬学・医療分野の基礎的素養を修得し、さらに、多様な先端の薬学研究を知り専門分野の知識を深めるとともに、そこで取り上げられる分野特有の問題点や解決方法を学ぶ。また、薬学研究の方法論などの実例から科学的思考過程や実験・解析手段を学ぶ。

学生が修得すべき知識及び能力に関する情報（保健医療学研究科）

修士課程

【看護学専攻】

- チーム医療を推進する高度実践専門職として、実践における課題を明確化し、課題解決に向けた知識と実践力を習得する。
- 実践課題の解決に向けた研究テーマについて、研究手法を学び、研究に取り組み、研究に必要な知識と能力の基礎を取得する。
- 実践の場で保健医療の質的充実・向上に貢献する人材となり得る力を身につける。

【理学療法学専攻】

- 予防理学療法学を中心として理学療法における実践課題の解決のための論理的かつ倫理的思考力を修得し、エビデンスの構築や実践課題の解決に向けた研究を実施する中で、研究に関する基礎知識、研究手法および研究実践能力を修得する。
- 臨床における理学療法学実践、地域における地域理学療法実践において、対象者の問題や地域の課題を正確に分析評価し、その課題解決に向けて専門的知識と技術を統合、発展される能力を育成する。
- 臨床や地域の実践の場で理学療法の質的充実・発展に貢献するためのマネジメント能力と自己客観性をもって自信を発展させる能力を修得する。